



# 大塚だより

令和7年1月8日

校長 木村 利男

## 「冬の寒さ」と「次年度に向けて」！

新年あけましておめでとうございます。今年一年どうぞよろしくお祈りします。  
冬休みが終わり、後期の後半がスタートします。冬本番を迎え寒さも一段と厳しくなっ  
てまいります。

前回の夏の暑さに続けて、「寒さ」を表現する「ことば」をいくつか挙げます。

- 肌寒い（はだざむい）・・・ 少し冷たさを感じる寒さ
- 底冷え（そこびえ）・・・ 地面からじんわり冷え込むような寒さ
- 身を切る寒さ・・・ 切られるように鋭く感じる厳しい寒さ
- 凍てつく（いてつく）・・・ 凍りつくほど厳しい寒さ
- 息が白い・・・ 寒さで吐く息が白く見える状態
- 氷のような・・・ 非常に冷たい様子をたとえた表現
- 極寒（ごっかん）・・・ 耐えがたいほどの厳しい寒さ
- 寒風吹きすさぶ（かんふうふきすさぶ）・・・ 冷たい風が強く吹く寒い状況
- ・真冬日（まふゆび）・・・ 最高気温が0℃未満の日
- ・冬日（ふゆび）・・・ 最低気温が0℃未満の日
- ・氷点下（ひょうてんか）・・・ 0℃を下回る気温のこと
- ・寒の入り（かんのいり）・・・ 小寒（1月上旬頃）に入り、寒さが本格化する時期
- ・寒の戻り（かんのもどり）・・・ 暖かくなった後、再び寒さが戻る現象
- ・厳冬期（げんとうき）・・・ 一年の中で最も寒い時期を指す（1月～2月上旬）
- ・大寒（だいかん）・・・ 二十四節気の一つで、最も寒さが厳しい時期

まだまだたくさんありますが、書いているだけで、「ぶるっ」と震えてしまいます。

地球温暖化と言われ、ここ数年は暖冬傾向にあります。今年はどうでしょうか。冬の厳しい寒さの中にあっても、人のぬくもりが感じられる社会でありたいですね。

さて、令和7年（2025年）がスタートしました。今年、11月にデフリンピックが東京で開催されます。デフリンピアンが活躍し、全国からのたくさんの応援により、さらなる聴覚障害者への理解推進が図られることを祈念しています。

先月臨時保護者会を開催し、次年度の教育課程等に関する事項についてお伝えいたしました。保護者のみなさま、オンライン参加も含め、ご多用の中ありがとうございました。授業時数への考え方等については、改めてご理解いただき、標準授業時数に近づけるよう、時数軽減を行い、一部短縮日等を調整しながら、これまで以上に教育内容の充実に改めて努めてまいります。

1月8日(水)小学部「はじめの会」にてお話をしました。大切なことを3つお伝えしました。

1つ目「心のこもった『あいさつ』ができる人になってください」

2つ目「感謝の気持ちを表す言葉である『ありがとう』を心から言える人になってください」

3つ目「絶対にいじめはだめ 人の良いところを見つける目と心を育ててください」

3つのことをしっかりと実行できる人になってほしい。今、できていなくても、これから意識して行動してほしいと伝えました。

私たち教職員は、これからも、子どもたち一人ひとりが安心して学び、成長できる環境を整えるために、尽力してまいります。本校の教育活動に、引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。

今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

